

こいた 小板まきばの里通信 Vol 11.1

～地面に落ちている木の実を探してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！



ミヤマ
ママコナ



アキノキリン
ソウ



アキチョウジ



ヒヨドリ
バナ



ゴマナ



カンボク
(実)



ナナカマド



ママコノ
シリヌグイ



アケボノ
ソウ



イヌタデ



ハナウド



シロヨメナ



ノブドウ



ミゾサバ/
アキノウナギツカミ

■里山の自然観察 ～地面に落ちている木の実を探してみよう～

9月半ばを過ぎるとキャンプ場周辺の里山は実りの秋を迎えます。今年はクリ・ドングリが大豊作、あちこちで地面におちたたくさんの実を見つけることができます。大規模林道にあたらしいクリのイガがおちていればそばには小さなクリが落ちています。皮がてかてかと光っているものが落ちて間もない新鮮なクリ、拾ったクリを焚火等で焼くときは爆発しないように皮に空気抜きの傷をつけてから焼きましょう。長さが約1.5cmのコナラのドングリはキャンプ場内のドングリ1やヤマザクラ3の区画のそばで見つけられます。長さが3cmほどもある大きなミズナラのドングリはひょうたん山の遊歩道に、先が4つに裂けた殻に入ったブナの実は恐羅漢ビューポイント付近に落ちています。地面に落ちて冬越しする動物たちの大事な餌になるいろいろな木の実を探してみましょう。